

輸出事業計画

※申請者名：三田食肉センター輸出拡大コンソーシアム、品目：牛肉

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・神戸ビーフを代表とする国産和牛は、高品質・高度な衛生管理の面から、国際的に高い評価を受けている。
- ・輸出先国は、サウジアラビア、UAE、カタール、マレーシア、インドネシアの5カ国
- ・三田食肉センターでは輸出向け、国内向け共に、全てハラール対応でと畜
- ・全と畜数に対し、兵庫県産が約30%、兵庫県産以外が約70%

【課題】

- ・ハラールに配慮した家畜の取扱いの周知徹底
- ・施設の認定基準として定められたハラールと畜の徹底
- ・生産に携わるムスリムの人員確保
- ・ロイン系以外のセカンダリーカット(モモ、カタ、バラ等)の需要拡大

2. 輸出事業計画の取組内容

- ①ハラール認証基準を満たした飼養管理について生産農家への普及促進
- ②神戸ビーフのプロモーションによる海外需要喚起と和牛の魅力についての情報発信
- ③多言語対応のホームページを活用したPR

サウジアラビア向け神戸ビーフのプロモーション

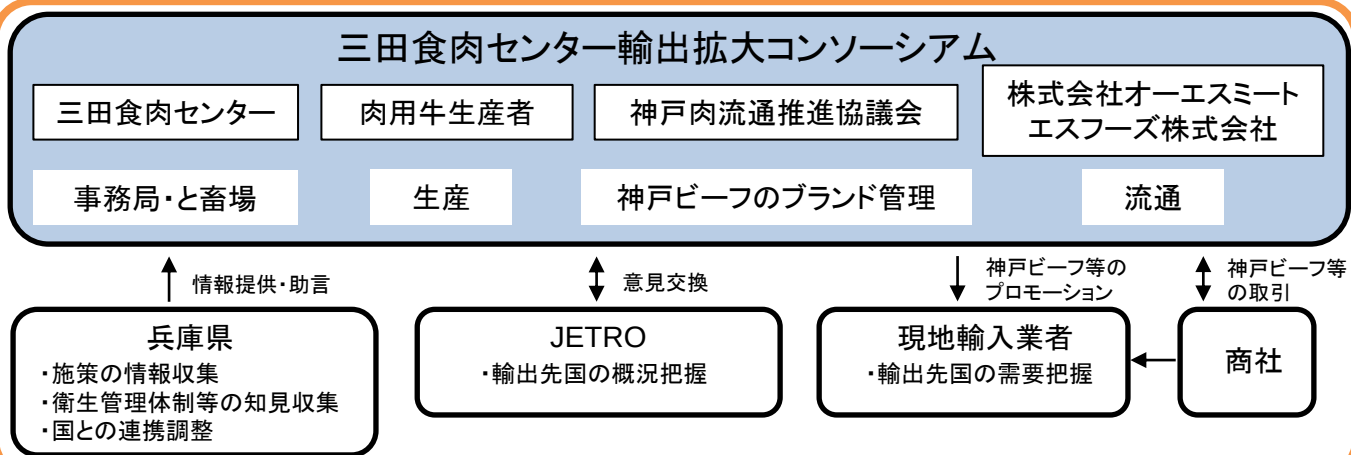
サウジアラビアにおける神戸ビーフの取り引きに関する契約締結と合わせて、神戸ビーフのプロモーションを実施。

地理的表示(GI)保護制度に登録された神戸ビーフの美味しさについてアナウンスし、また、世界農業遺産として認定された兵庫県兵庫美方地域の「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」についても解説し、魅力をプロモーションした。



輸出に係る契約締結(調印式)の様子

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

(1) サウジサラビア・マレーシア

	現状 (2023年)	目標年 (2026年)
輸出額(千円)	348,481	713,823
輸出量(t)	63.1	129.3

(2) UAE・カタール・インドネシア

	現状 (2023年)	目標年 (2026年)
輸出額(千円)	246,037	503,978
輸出量(t)	26.4	54.1